

アレルギー対応案に対する学校関係者からの主な意見

- アナフィラキシーショック既往歴のある児童への対応について、教育委員会としての統一した見解を出してほしい。最終判断は学校と保護者で決めることになるが、基本の考えがないと説明ができないため。
- 負荷経口試験は、病院での安静した状況で行うため、運動誘発のリスクも考慮しないといけないと思う。
- 学校での弁当保管は、冷蔵庫の問題や、人数が増えている中では対応は難しい。もし、養護教諭がいない場合など、取り違えとか間違いがあってはならない。教室の温度管理はしているので、保冷材などにより個人での保管とすべきである。
- 除去食で食べられないものが出ることは、保護者から不満が出ると思う。
- 直送品や調味料は除去対応できないことはもっと明確にしてほしい。完全除去という言葉で保護者が誤解することがあるので。
- 医療機関との連携をぜひやってほしい。(なにかあった時の搬送先等の協定とかができると保護者や現場の安心にもつながるのではないか)
- 保護者の役割みたいなものを入れてはどうか。
- 生活管理指導表にアナフィラキシーショックの既往歴のチェック欄を設けられないか。
- 学級担任の役割について、一部不可能なものがある。
- アレルギー対応のレベル分けの考え方はわかりづらい。
- おかわりは、除去食だけなのか、全てが禁止となるのか。
- 配膳員や保護者の役割も記載した方がよいのではないか。
- 除去食対応などが5月からとなっているので（4月に入ってから面談、審査をするため）それまでは弁当対応か、4月当初からできるようにしてほしい。

審議会でのご意見

- 乳のアレルギー対応を行わず、飲用牛乳だけやるのは中途半端であると思う。
- えび・かにのアレルギーの子どもは、卵とナッツも抜かれた給食となることも問題であると思う。
- 牛乳だけでは不完全であると思うので、乳の除去もお願いしたい。
- 乳は人数も多いので、乳製品についての除去をしていくべきではないか。
- アナフィラキシーの既往歴がある人は除去食を提供しないという考えは、無知や知らないことからくるものであると思われる。例えば1歳のときに発症したような場合
- 学校給食では、既往歴のテストはできないが、受入や緊急時の体制を整えることが重要だと思う。また、アレルギーの子が学校入学後にスピーディーな対応が取れるよう体制を整えてもらいたい。
- 医療機関との連携については、都内は救急救命ができる消防士がくるので、問題はないものと思っている。国の対応指針は全国版なので、連携について記載されている。
- 管理指導表は専門ではない者が保護者の言うとおりに記載するような場合や検査の設備がない場合などあるので、内容についてきちんと見てもらえる体制づくりをする必要があると思う。
- チェックシートが作って終わりではなくきちんと機能するように、また人間はミスをするのだから、リカバリーができるようになってるのが良いと思う。また、チェックシート以外に食器やトレイなど、アレルギーが一目でわかるような配慮をしてもらいたい。
- 配膳から先は学校長へ一任することとなるかもしれないが、給食を作る方も現場意識を持って取り組んでももらいたい。
- お願いとなるが、学校全体の徹底を給食からも後押ししてもらいたい。
- 調布も3つのミスが重なった。保護者の確認、調理員、担任とそれぞれだが、マニュアルがあっても変なものだと余計に悪い結果が想定される。教育委員会でまとめて作って、管理していくようにしないと事故を防ぐことはできないものと思われる。
- マニュアルのチェックはどこが行うのか。
- 調布みたいに教育委員会が積極的に動かないと、うまくいかないのではないかと。